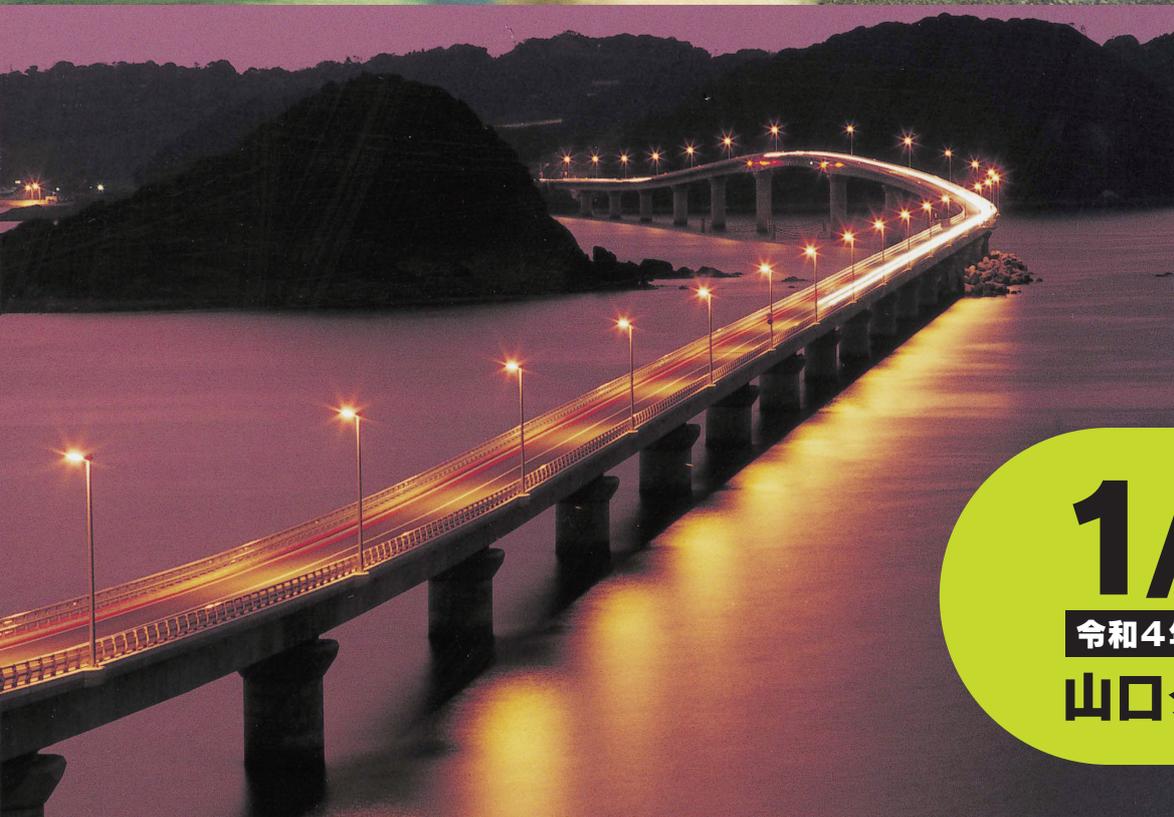


令和3年度 第38回 公益財団法人
日本中学校体育連盟研究大会



山口大会

1/21^金
令和4年
山口グランドホテル

主催／(公財)日本中学校体育連盟・中国中学校体育連盟・山口県教育委員会・山口市教育委員会

主管／山口県中学校体育連盟

後援／スポーツ庁・全日本中学校長会・山口県中学校長会・山口市中学校長会・(公財)日本教育公務員弘済会山口支部



あいさつ

(公財) 日本中学校体育連盟

会長 宮澤 一 則

令和3年度第38回公益財団法人日本中学校体育連盟研究大会山口大会を、山口県のほぼ中央に位置し、豊かな自然や歴史が共存する文化都市、日本三名塔の瑠璃光寺五重塔を有し、明治維新ゆかりの史跡が多くあります山口市において開催すべく準備してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、誠に残念ではありますが、WEBでの開催と致しました。本大会を共催していただきました山口県教育委員会、山口市教育委員会、中国中学校体育連盟、そしてご後援を賜りましたスポーツ庁、全日本中学校長会、山口県中学校長会、山口市中学校長会、公益財団法人日本教育公務員弘済会山口支部の皆さまにお礼申し上げますとともに、主管されます山口県中学校体育連盟の皆さま方のご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、今年度から完全実施となった新学習指導要領は、部活動について、学校教育活動の一環としての重要性とその方向性を示しています。特に、「将来にわたる持続可能性を踏まえた部活動の在り方」について、「働き方改革」の意義とあわせて留意することが重要です。平成30年4月1日には、スポーツ庁より「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が示されました。全国の中学生が生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するためにもガイドラインの趣旨に則り、運動部活動の適切な運営に取り組むことが求められます。また、「学校教育施行規則の一部を改正する省令（平成29年3月14日文科科学省令第4号）」により、中学校、高等学校におけるスポーツ、文化、科学等に関する教育課程外の教育活動に係る技術的な指導に従事する部活動指導員について、その名称及び職務等が明らかにされ、学校における部活動の指導体制のさらなる充実が図られました。本連盟においては、ただちに大会の引率規定を改定し、部活動指導員の導入に着手して参りました。全国的には、その数は増加している状況にあり、今後も増加傾向にあると予測しています。また、近年、情報化や情報化の急速な進展により、社会が大きく変化する中で、日本の教育界においても、Society 5.0の到来を見据えた国の教育改革の動きは速く、内容も多岐にわたり解決すべき課題が山積しています。

以上、国の動向や新学習指導要領などを踏まえて、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成、並びに、生涯にわたってスポーツに親しむことができる生徒の育成を求め、運動部活動のさらなる発展を考えなくてはなりません。

このような状況下、昨年度まで「豊かな人間性と生きる力を育む運動部活動のあり方を目指して」という研究主題のもと取り組んできましたが、本研究大会より新たに「豊かなスポーツライフの実現に向けて～持続可能な運動部活動の在り方と中体連の役割～」として、推進して参ります。これは、中学校教育が直面する喫緊の課題であり、そのよりよい解決は、全国の中学校に学ぶ320万人あまりの中学生とその保護者も強い関心を寄せている課題でもあります。中学校の指導者として、生涯にわたってスポーツに親しむ基礎づくりに関わることへの重責と誇りを認識し、部活動を通して指導者自ら、人間として学ぶ場にしてほしいと考えます。この研究大会が、よき学びの場となることを期待しております。

結びに、コロナ禍のなか、心温まる大会運営をしてくださった大会関係者の皆さまに改めて感謝申し上げますとともに、本研究大会の成功と全国から参加されております会員の皆さまの益々のご活躍を祈念し、大会のあいさつといたします。

大会要項

- 1 趣 旨 （公財）日本中学校体育連盟（以下、本連盟という）は、生涯スポーツの充実・発展に資するために、本連盟に加盟する中学校の体育・運動部活動指導者が一堂に会し、当面する諸課題及びこれからのよりよい体育・運動部活動の目指す方向性について、日頃の実践的な研究成果を発表し、研究協議と情報交換をする機会を設けるべく（公財）日本中学校体育連盟研究大会を開催する。
- 2 主 催 （公財）日本中学校体育連盟 中国中学校体育連盟 山口県教育委員会
山口市教育委員会
- 3 主 管 山口県中学校体育連盟
- 4 後 援 スポーツ庁 全日本中学校長会 山口県中学校長会 山口市中学校長会
（公財）日本教育公務員弘済会山口支部
- 5 日 時 令和4年1月21日（金）12：50～16：10
- 6 会 場 【大会運営会場】 山口グランドホテル
〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町1-1 TEL 083-972-7777
- 7 開催方法 大会誌（研究紀要・大会報告書）への紙上掲載ならびにZOOMによるWEB会議形式にて実施する。
- 8 参加対象 本大会の参加者は次のとおりとする。
 - （1）各都道府県中学校体育連盟の代表参加者1名
 - （2）各分科会の発表者・指導助言者・司会者
 - （3）（公財）日本中学校体育連盟役員（研究部員を含む）
- 9 研究主題とその内容
 - （1）研究主題 「豊かなスポーツライフの実現に向けて」
 - （2）内 容
 - ① 研究紀要への紙上掲載
 - ◆ シンポジウム
 - <協議題>
 - 「持続可能な運動部活動のあり方と中体連の役割」
 - コーディネーター
瀬尾 賢一郎 氏 徳山大学福祉情報学部人間コミュニケーション学科 准教授
 - シンポジスト
藤井 邦夫 氏 防府市立牟礼中学校 校長
谷川 正己 氏 山口県観光スポーツ文化部スポーツ推進課 主査
高尾 勇一郎 氏 山口県中学校体育連盟 理事長
 - ② ZOOMによるWEB会議形式
 - ◆ 講 演
 - 演 題： 「望まないスポーツ嫌いをなくし、飛躍を促すスポーツ環境づくり」
 - 講 師： NPO法人 Compassion 代表理事 伴 元裕 氏

◆ 分科会

次のテーマごとに分科会を設け、研究発表及び研究協議を行う。研究協議は分科会ごとに協議議題を設定し、グループ協議及び全体協議を行う。

- 第1分科会 (組織)
 - 「中体連の組織及び競技会のあり方とその運営」
 - ・望ましい中体連の組織の運営及び諸課題への対応
 - ・望ましい競技会の運営及び諸課題への対応
- 第2分科会 (健康安全)
 - 「豊かな心と健やかな体を育む運動部活動」
 - ・生徒の主體的・協働的な力を育む運動部活動の運営
 - ・意欲を喚起させる運動部活動運営
 - ・競技力向上や健康体力の保持増進を目指した運動部活動
 - ・運動部活動における健康安全管理
- 第3分科会 (連携)
 - 「連携でつくる運動部活動」
 - ・学校教育活動との関連・連携による運動部活動の活性化
 - ・地域単位で支える運動部活動運営のあり方
 - ・部活動指導員及び外部指導者の活用と連携
 - ・関係諸機関及びスポーツ団体との連携・協力のあり方
- 第4分科会 (諸問題)
 - 「当面する運動部活動の諸課題」
 - ・生徒減少期における運動部活動のあり方
 - ・運動部活動の活性化及び運営の在り方について
 - ・指導者の資質向上
 - ・持続可能な学校運動部活動の運営

10 日 程

1 / 21	12:40	12:50	13:00	14:00	14:10	16:10
	WEB会場 (全体会) 入室	開 会 行 事	講 演	休憩・移動 WEB会場 (分科会) 入室	分科会 研究発表及び協議 (グループ協議) (全体協議)	各分科会 閉会行事

11 発表者及び提出資料

(1) 研究発表担当都道府県及び順序 (発表時間15分程度)

形 式	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
研究発表	九州・長崎県 北海道	近畿・京都府 四国・愛媛県	北信越・新潟県 関東・山梨県	東海・静岡県 東北・宮城県
紙上発表	中国・広島県	中国・島根県	中国・岡山県	中国・鳥取県
指導助言者	(公財)日本中体連	(公財)日本中体連	(公財)日本中体連	(公財)日本中体連
	中国・広島県	中国・島根県	中国・岡山県	中国・鳥取県
司会者	中国・広島県	中国・島根県	中国・岡山県	中国・鳥取県
運営責任者	山口県中体連	山口県中体連	山口県中体連	山口県中体連
記録者	山口県中体連	山口県中体連	山口県中体連	山口県中体連

*分科会の指導助言は、大会報告書にて紙上掲載する。

(2) 提出資料の種類

- ① 研究発表担当都道府県中体連からの提出資料
 - ・分科会のテーマに基づいた実践研究の成果
- ② その他
 - ・都道府県または学校の優秀な資料

(3) 提出資料の取り扱い

上記①・②の各資料を研究紀要としてまとめ、各都道府県中体連・司会者・助言者等には事前を送付する。

(4) 提出資料の作成要領

- ① 研究発表担当都道府県中体連からの提出資料
 - 資料は、分科会ごとのテーマに沿って各都道府県中体連で特に解決を迫られている課題、かつ将来的にかかるべきとする提言等について、具体的な案をまとめて作成する。分科会のサブテーマとして挙げられているものの中から選ぶか、それに関連するテーマを独自に取り上げてもよい。
- ② 提出原稿について
 - ワープロソフト「Word」もしくは「一太郎」を使用する。
 - ワープロ規格A4判（横40字×縦36行）により、4枚にまとめる。
 - 発表で使用するプレゼンテーションソフトは「パワーポイント」を使用する。
 - ・提出原稿の図表等は明瞭なものにする。
 - ・提出原稿は電子データで送付する。
 - ・研究物、資料があれば予め大会事務局を通して参加者へ配付する。
 - ・大会終了後、研究紀要等を（公財）日本中学校体育連盟のホームページに掲載する。

(5) 提出方法

- ① 発表者の報告 令和3年10月29日（金）
- ② 原稿提出期日 令和3年10月29日（金）
- ③ 提出先 大会事務局 〒753-0070 山口県山口市白石2丁目7-1
山口市立白石中学校内 山口県中学校体育連盟事務局
TEL 083-924-8997 FAX 083-902-7007
E-mail chutairen@yamaguchi.email.ne.jp

12 参加申込手続について

(1) 申込方法

別紙参加申込要項による。

(2) 申込締切期日

令和3年11月26日（金）正午必着

(3) 参加費

参加費は徴収しない。

13 その他

(1) （公財）日本中学校体育連盟第2回研究部会の開催

日 時 令和4年1月19日（水）14:00～16:00

開催方法 ZOOMによるWEB会議形式とする。

(2) 大会参加者に対して、事前の接続確認およびリハーサル（分科会発表・協議）の機会を設定する。詳細日時等については、大会事務局より所属中学校体育連盟事務局を通して連絡する。

山口大会日程 ~WEB開催~

【1月21日(金)】 大会運営会場：山口グランドホテル

1 開会行事 12:50~13:00

- | | | | |
|-----------|---------------|-----|--------|
| ○ 主催者あいさつ | (公財)日本中学校体育連盟 | 副会長 | 石川 一博 |
| ※ 日程説明 | 山口県中学校体育連盟 | 理事長 | 高尾 勇一郎 |

2 講演 13:00~14:00

- 演題 『望まないスポーツ嫌いをなくし、飛躍を促すスポーツ環境づくり』
 伴 元裕 氏 (NPO法人 Compassion 代表理事)

3 分科会 14:15~16:15

第1分科会 『中体連の組織及び競技会のあり方とその運営』

- | | | | |
|-------|---------------|-------|-------|
| 発表者 | 長崎県中学校体育連盟 | 研究部 | 鶴岡 秀久 |
| | 北海道中学校体育連盟 | 調査研究員 | 菊池 哲一 |
| 助言者 | (公財)日本中学校体育連盟 | 副会長 | 大塚 洋一 |
| | 広島県中学校体育連盟 | 副会長 | 十亀 琢磨 |
| 司会者 | 広島県中学校体育連盟 | 理事長 | 三島 直己 |
| 運営責任者 | 山口大会実行委員会 | 運営部 | 久保 貴由 |

第2分科会 『豊かな心と健やかな体を育む運動部活動』

- | | | | |
|-------|---------------|--------|--------|
| 発表者 | 京都府中学校体育連盟 | 副理事長 | 岸本 卓也 |
| | 愛媛県中学校体育連盟 | 研究部協力員 | 矢野 有一香 |
| 助言者 | (公財)日本中学校体育連盟 | 副会長 | 石川 一博 |
| | 島根県中学校体育連盟 | 会長 | 安達 正治 |
| 司会者 | 島根県中学校体育連盟 | 理事長 | 柏木 裕至 |
| 運営責任者 | 山口大会実行委員会 | 運営部 | 有沢 章太 |

第3分科会 『連携でつくる運動部活動』

- | | | | |
|-------|---------------|-------|-------|
| 発表者 | 新潟県中学校体育連盟 | 研修部長 | 渡邊 譲 |
| | 山梨県小中学校体育連盟 | 研究委員長 | 片山 敬太 |
| 助言者 | (公財)日本中学校体育連盟 | 副会長 | 田中 節博 |
| | 岡山県中学校体育連盟 | 会長 | 森 章博 |
| 司会者 | 岡山県中学校体育連盟 | 理事長 | 山口 憲明 |
| 運営責任者 | 山口大会実行委員会 | 運営部 | 土田 淳一 |

第4分科会 『当面する運動部活動の諸課題』

- | | | | |
|-------|---------------|--------|-------|
| 発表者 | 静岡県中学校体育連盟 | 調査研究委員 | 加茂 雅章 |
| | 宮城県中学校体育連盟 | 研究部 | 櫻井 直樹 |
| 助言者 | (公財)日本中学校体育連盟 | 副会長 | 市川 嘉裕 |
| | 鳥取県中学校体育連盟 | 会長 | 藤原 建一 |
| 司会者 | 鳥取県中学校体育連盟 | 理事長 | 阿部 雄一 |
| 運営責任者 | 山口大会実行委員会 | 運営部 | 中尾 嘉宏 |

4 閉会行事(分科会別) 16:15~16:18

- | | | | |
|-----------|-----------|-----|-------|
| ○ 閉会のあいさつ | 山口大会実行委員会 | 副会長 | 岡崎 好治 |
| | | | 奥住 徹浩 |
| | | | 岩井 康浩 |
| | | | 柴崎 誠二 |

基 調 報 告

第38回（公財）日本中学校体育連盟研究大会

山口大会実行委員会 会長

松野下 真

全世界での新型コロナウイルス感染症蔓延拡大の状況下、今年度「東京2020オリンピック」が予定より1年遅れで開催され、世界中を感動の渦に巻き込みました。しかしながら、1年間の延期や無観客での実施、海外からの関係者以外の渡航禁止など、様々な制限のあったオリンピックでもありました。開催することの是非や開催方法・期間の変更など、前代未聞の大会であったのも事実です。

中体連においては、誰も予想しなかったこのような状況下で、昨年度は全国中学校体育大会を始め各ブロック大会が軒並み中止となりました。しかし、今年度はコロナ禍で有りながらも、新型コロナワクチンの接種が進んだこともあり、日本中学校体育連盟の方々をはじめとし、各ブロックの中体連関係者の方々の御尽力により全国中学校体育大会や各ブロック大会・地区大会を開催できたことは本当に意味のあったことだと感じました。

全国で多くの生徒が参加している中学校での運動部活動は、中学生期の体力の向上や競技力の向上のみならず、運動部活動を通じての社会性の習得や人間力の形成に大きく影響を及ぼしていることは言うまでもありません。しかしながら、現在の中学校の運動部活動を取り巻く環境は、教職員の多忙化、地域における少子化の加速による部活動への参加人数の減少、部活動における保護者や地域からのニーズの多様化、大量採用大量退職からくる競技の専門的指導者の不足など多くの課題が山積しております。また、今後の全国大会のあり方の協議が行われたり、各ブロック大会や地区大会そのものの在り方や、今後の大会運営はどうしていくべきかなど、運動部活動の位置付けに限らず、運営体制も課題となっています。

本研究大会は、コロナ禍にあるため、WEB形式での開催となりますが、「豊かなスポーツライフの実現に向けて」という新たな研究主題を立て、WEB形式で参加する中体連関係者の現場の意見を、分科会や講演会・シンポジウムの中で取り上げ、議論する事を通して、持続可能な運動部活動のあり方や中学校体育連盟の今後の役割を考えていく機会にもしたいと考えています。

終わりに、コロナウイルス感染者が減少し、元の社会生活が少しずつ取り戻している中で、本研究大会が、全国からWEB形式にて参加いただく皆様のご協力や充実した協議によって（公財）日本中学校体育連盟および関係する皆様方のこれからの活動のさらなる躍進につながることを祈念いたしまして、基調報告とさせていただきます。